



資料編

1 計画の策定経過

■計画の策定経過

開催（実施）事項 期 日	内 容
第1回 策定委員会 ・開催日 平成23年7月15日（金）	1. 計画策定の進行管理について 2. 第1次計画の検証について 3. アンケート調査（案）について
アンケート調査の実施 ・実施期間 平成23年8月2日～16日	
地域別市民懇談会の実施 ・第1回 開催日 平成23年8月24日（水） ・第2回 開催日 平成23年8月25日（木） ・第3回 開催日 平成23年8月26日（金） ・第4回 開催日 平成23年9月6日（火）	
第1次計画検証（関係各課施策・事業調査）の実施 ・実施期間 平成23年7月～8月	
第2回 策定委員会 ・開催日 平成23年9月28日（木）	1. 第一次計画の検証について （1）各種アンケートの結果報告 （2）市民懇談会の結果報告 （3）庁内ヒアリングの結果報告 2. 第二次計画の体系・骨子（案）について
第3回 策定委員会 ・開催日 平成23年11月28日（月）	1. 素案の検討について
第4回 策定委員会 ・開催日 平成24年1月17日（火）	1. 最終素案の確認について 2. パブリックコメントについて
第5回 策定委員会 ・開催日 平成24年3月12日（月）	1. パブリックコメントの結果について 2. （仮称）泉南市地域福祉推進委員会の設置について 3. 完成計画書の提出について

■ 泉南市地域福祉計画及び地域福祉活動計画策定委員名簿

分野	氏名	所属
学識経験者	◎河野 あゆみ	大阪市立大学大学院看護学研究科
地域福祉団体の代表者	佐々木 真人	身体障害者福祉会
〃	西野 敦子	障害者（児）親の会
〃	長島 由美子	泉南のぞみ会
〃	若林 茂樹	民生委員児童委員協議会
〃	山田 きみ子	社会福祉協議会(平成 23 年 11 月 30 日迄)
〃	山下 昭往	社会福祉協議会(平成 23 年 12 月 1 日以降)
〃	亀田 章道	人権協会
〃	尾本 時子	老人クラブ連合会
〃	上中 喜美夫	区長連絡協議会
保健・医療・福祉施設等の代表者	久禮 文雄	泉佐野・泉南医師会
〃	川勝 光子	社会福祉法人 大阪府済生会泉南特別養護老人ホーム
〃	道脇 浩司	社会福祉法人 せんわ
〃	油田 学	社会福祉法人 長寿会
〃	井上 尚美	デイセンターせんなん
〃	厨子 美津子	泉南フレンド
地域福祉団体の代表者	○滝本 美津代	地区福祉委員会
〃	下澤 ひとみ	ボランティア連絡協議会
〃	津田 純子	PTA 連絡協議会
一般参加（公募）	松下 盛子	市民参加
〃	島本 純子	市民参加

◎：委員長 ○：副委員長

■ 泉南市地域福祉計画策定検討委員名簿

部課名	所属役職名
総務部	政策推進課長
市民生活環境部	商工労働観光課長
健康福祉部	生活福祉課
〃	高齢障害介護課長
〃	保育子育て支援課長
〃	健康保険課長
〃	保健推進課長
都市整備部	施設管理課長
〃	都市計画課長
人権推進部	人権推進課長
〃	同和政策課長
教育部	生涯学習課長
〃	人権教育課長

■泉南市地域福祉計画策定委員会設置要綱

（目的及び設置）

第1条 社会福祉法（昭和26年法律第45号）第107条に基づき、地域住民、地域団体等との協働により地域福祉の計画的な推進を図ることを目的として、泉南市地域福祉計画（以下「計画」という。）を策定するため泉南市地域福祉計画策定委員会（以下「策定委員会」という。）を設置する。

（所掌事項）

第2条 策定委員会は、前条の目的を達成するため次の事項を所掌する。

（1）計画に関する調査研究

- ア 地域における福祉サービスの適切な利用の推進に関する事項
- イ 地域における社会福祉を目的とする事業の健全な発達に関する事項
- ウ 地域福祉に関する活動への住民参加の促進に関する事項

（2）前号に掲げるもののほか、本要綱に定める目的を達成するために必要な事項

（組織）

第3条 策定委員会は、委員20名以内をもって組織する。

（委員）

第4条 委員は、地域福祉に関し、見識を有する市民、学識経験者等のうちから市長が委嘱する。

2 委員の任期は、平成23年7月15日から平成24年3月31日までとする。

（会長及び副会長）

第5条 策定委員会に、会長及び副会長1名を置き、委員の互選によりこれを定める。

（会議）

第6条 策定委員会の会議は、会長が招集し、会議の議長となる。

2 第1回委員会の会議の招集は、前項の規定にかかわらず、市長が招集する。

3 会長は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聞くことができる。

（事務局）

第7条 策定委員会の事務局は、生活福祉課に置く。

（その他）

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、会長が定める。

附 則

この要綱は、平成17年8月1日から施行する。

■泉南市地域福祉活動計画策定委員会設置要綱

(目的及び設置)

第1条 この要綱は、少子・高齢化社会を迎え、地域住民が主体となって、誰もが「住み慣れた地域で安心して生活ができる町づくり」を創りあげ、地域福祉の推進に向けた泉南市地域福祉活動計画（以下「活動計画」という。）を策定するにあたり、住民等から意見を求め、幅広い観点からの検討を行うため、泉南市地域福祉活動計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、活動計画の策定に関する調査及び検討を行うものとする。

(組 織)

第3条 委員会は委員 25 名をもって組織する。

(所掌事務)

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから、社会福祉協議会会長が委嘱する。

- (1)学識経験者
- (2)市民関係団体
- (3)社会福祉に関する活動を行う者
- (4)社会福祉を目的とする事業者
- (5)関係機関
- (6)社会福祉協議会職員

3 委員に欠員が生じたときは、補充することができる。

(任 期)

第4条 委員の任期は、計画の策定に係る業務の完了するときまでとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長をそれぞれ1名を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の中から互選により選出する。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総括する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し委員長に事故あるときはその職務を代理する。

(会 議)

第6条 委員会の会議は委員長が招集し、委員長が議長となる。

- 2 委員会の会議は、委員の過半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取)

第7条 委員会は、必要あるときは委員以外の者を会議に出席を求め、その意見若しくは説明を聞き、場合によっては、資料の提出を求めることができる。

(守秘義務)

第8条 委員会に出席した者及びその他関係者は、委員会に関して知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、泉南市社会福祉協議会内において行う。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮り、その都度定める。

附 則

1 この要綱は、平成17年4月1日より施行する。

(招集の特例)

最初に招集される委員会は、第6条の規定にかかわらず社会福祉協議会会長が招集する。

■泉南市地域福祉計画策定検討委員会設置要綱

（目的及び設置）

第1条 泉南市地域福祉計画を定めるに当たり、本市の地域福祉の計画的な推進を図るため、泉南市地域福祉計画策定検討委員会（以下「検討委員会」という。）を設置する。

（所掌事項）

第2条 検討委員会は、前条の目的を達成するため次の事項を所掌する。

- (1) 泉南市地域福祉計画の策定に関する事項
- (2) 市民ニーズ及びワークショップからの課題の検討に関する事項
- (3) 前2号に掲げるもののほか、本要綱に定める目的を達成するために必要な事項

（組織）

第3条 検討委員会は、別表に掲げる職にある者をもって組織する。

（委員長）

第4条 検討委員会に委員長を置き、生活福祉課長をもって充てる。

2 委員長に事故ある時は、委員長があらかじめ定める者がその職務を代理する。

（会議）

第5条 検討委員会は、必要に応じ委員長が招集し、その議長となる。

2 委員長が必要と認めた時は、検討委員会に委員以外の者の出席を求め、説明または意見を聞くことができる。

（事務局）

第6条 検討委員会の事務局は、生活福祉課に置く。

（委任）

第7条 この要綱に定めるもののほか検討委員会の運営に必要な事項は、委員長が定める。

附 則

この要綱は、平成 17 年 7 月 1 日から施行する。

2

市民懇談会のまとめ

- ・ 第1回：地域の良い点・課題について、対策取り組みについて

年月日時	場所	地域 (小学校区)	参加者数
平成23年8月24日(水) 午前10時~12時	信達中学校	信達	10名
		東	9名
		砂川	5名

- ・ 第2回：地域の良い点・課題について、対策取り組みについて

年月日時	場所	地域 (小学校区)	参加者数
平成23年8月25日(木) 午前10時~12時	一丘中学校	新家	14名
		新家東	10名
		西信達	3名
		一丘	7名

- ・ 第3回：地域の良い点・課題について、対策取り組みについて

年月日時	場所	地域 (小学校区)	参加者数
平成23年8月26日(金) 午前10時~12時	泉南市役所 (泉南中学校区)	雄信	5名
		樽井	7名
		鳴滝	7名

- ・ 第4回：東日本大震災救助活動報告、災害時の課題や取り組みについて

年月日時	場所	地域 (中学校区)	参加者数
平成23年9月6日(火) 午後7時~9時	あいびあ泉南	泉南	26名
		信達	19名
		西信達	11名
		一丘	15名

■第1回：「地域の良い点・課題について、対策取り組みについて」

日時：8月24日(水) 午前10時～12時

場所：信達中学校

信達小区

ゴミ

ゴミを見つけたら市民1人1人に拾うように市報にのせる、防災無線を使っても放送してほしい。
 儀池公園では少年野球、ゴルフ等、使用されていますが、使用前、10分でも全員でゴミ集め、草引きをすれば、かなりきれいになる。
 地区の一人一人1日一つずつゴミを拾う運動を啓発する。
 ゴミについて クリーン作戦等は年に一回なので地域で個々に行う日を使っては？
 公園の草刈り回数が増えて、花もなくなりさみしい。
 公園があるが草がはえている。
 公園の遊具が少なく、座るベンチがない。
 空き地にカン・ビンのゴミがポイ捨てされている。
 公園のゴミ箱に家庭ゴミを出している。
 川の溝が土砂でうまり水が流れない。
 ゴミの不法投棄の多い公園には監視カメラ等を設置する。

マナー

短所 ペット(犬)の糞の始末をしない人が多い。
 マナーをうながす看板を立てる。
 あいさつ運動。
 犬のお散歩マナーが悪い。
 ペットのふんの処理の悪い人に勇気をもって注意する。
 いたる所に犬のフンが落ちてきている。
 車のマナーが悪い。灯りが少ない。信号も少ない。

悪いところ

道路

短所 JR砂川駅前の整備。
 行政が動いてくれない(歩道等)は働きかけが声が上がらない。
 歩道上に駐車している車は徹底的に取り締まる。
 防災センターをR26より山川にも作ってほしい。
 生活道路において車道・歩道の区別がなく危険である。
 歩道がデコボコで歩きにくい。
 砂川駅前からの整備。
 道路の事は泉南市で考える。
 十二本松から26号線につづく歩道が、狭い上に、電柱が歩道上にあるのでベビーカー等では歩きにくい。
 砂川駅前の歩道がないので子供たちが学校行き帰りがあぶない。
 地区の入り口や、端々の街灯の数をチェックして明るく安全な道を確保してほしい。

少子高齢化

高齢者のサロンを多くする。子供たちと(子育てサロンと)いっしょに歩いても。
 独居老人の見守り、声かけ。
 砂川駅付近からは高齢者が歩いて買い物に行っている人が多く(子育てサロンと)。
 個人情報保護法により老々世帯の把握が難しい。
 高齢化が進み、若い人達が少なくなり子供の減少が気になります。

コミュニティ

他地区とのコミュニティが少ない。
 防災無線ですが障害物(家等)があると聞きにくい。
 行政で買い物難民を何とかして下さい。
 買い物に行くのがたいへん。雑貨店がない。
 溝をもっときれいにほし。買物が不便。
 交通の便が悪く、車がないと生活できない。コミュニティバスは便数が少なくて利用者が少ない。
 コミュニティバスの停留所を増やしてほしい。

交通の便

コミュニティ

地区全員参加型の催しがありますが、さらに参加者が増えるよう声かけを多くする。
 私の住んでいる地区町内は少数なのでなんとかコミュニティが出来る。
 隣近所に住まれている方の顔もすべて知り、助け合ったり昔ながらのつき合いが出来ています。
 新興の住宅が少ない方なので、近所、地区全体の人の顔が見えやすい。
 世代を超えて参加できる様な企画の充実(私達地域では夏にくすの木フェスタを行っている。)

よいところ

青安全パト

安全パトロールの人員の募集をどのようにするか？他地区区役所を広報で知らせる。
 メイン道路よりも脇道に重点。
 子供安全パトロールの組織がある。
 安全パトロールがあるところ。
 帰校の時の迎え。

緑

自然がいっぱいで緑豊かな所。
 地域での清掃やゴミ箱、トイレの設置、ゴミの収集を充実。
 シンボルツリーの大楠があるので、内外にもっとアピールをして多くの人達に来てもらって活気のある地区にしたい。

住環境

駅に近いのでたすかる。

東小区 1

課題

良いところ

環境

自然がーぱいで大変住み良所。

自然がおおいところ。

空気が良い。

良い所 自然が沢山ある所。

良い所 地域が比較に美しいと思う。

行事

季節ごとに花火大会や祭り事が行われる。

年間もちつきで色々ぜんざいや習慣でたべる事は良いと思います。

改善するところ

交通

通学が大変不便である。

買い物の場所が遠い。

買物が大変不便。

改善する所 子どもの数も少なく交通の便が悪い。

改善する所 歩いていける所に買物をする所がない。

改善するところ コミニティバスの回数を増やして欲しい。

交差点の信号の角度を見やすくして欲しい。

地域の交流

良い所 近所とかかわり合いが良い(しやすい)。

良い所 人間関係が良いと思う。

近所との交流が良い。

その他

改善するところ みぞ、川のそうじ 流れが悪い。

もっと東地区に住宅と建設して欲しい。若い子供達が増えると思う。

住む人数が少ない(学校)に入学する子どもが)。

改善する所 気軽に行き来できる所(集合場所)がある(カギを開けたい)。

環境

学童保育がないこと。

改善する所 子供達に帰宅を促す放送。

話のできる友人が欲しい。

日照時間が少ない。

未就園児の遊び場がなくなること。

医療関係のしせつがないので一日でも相談会を作りたい。

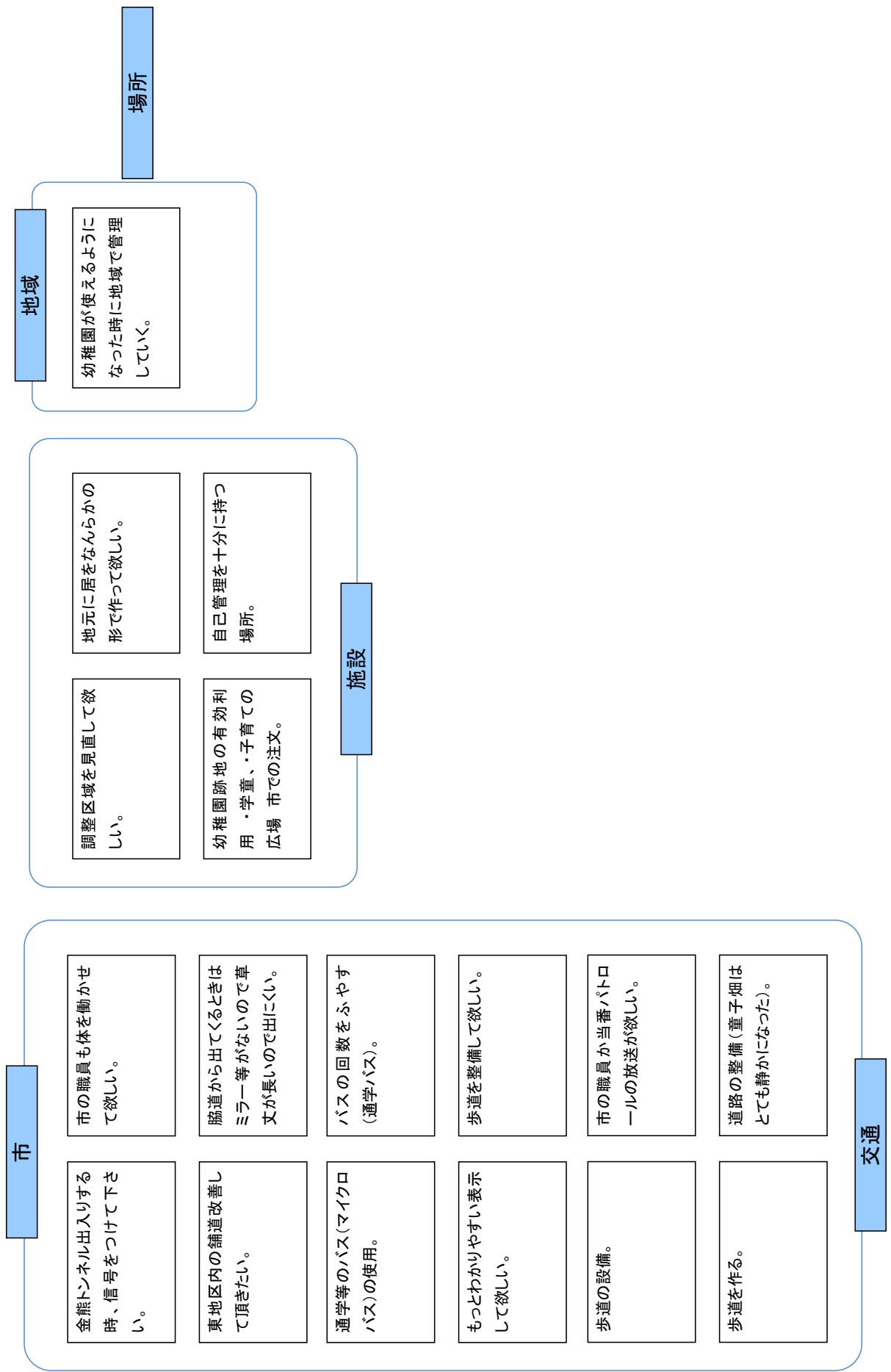
年に一度父兄と子供達とおもつきなどする所、チームワーク。

チームワーク参加しやすい。

改善する所 何かにつけて役員等出にくい。

東小区2

取り組み



砂川小区 1

よいところ

気質

児童あいさつ。
優しい子どもばかり
穏やかな気質。
比較的モラルが高
い。

福祉

ボランティア活動が
盛ん。
地域のボランティア
さんが本当に学校・
子供達の為に働い
てくれている。
多くの人が福祉に
かかわっている。

悪いところ

高齢者

高齢化が進み同居
老人が増加。
老人が増加してい
る。
高齢者と子ども
ふれあいが少な
い。
男性の参加が少な
い。

街灯

街灯が少ない。
街灯が少なく各家
の門灯も暗く少な
い。

地域活動

子供の数が少なくな
っている。
若い人で活動してく
れる人が少ない。
となり近所の声かけ
見守り。
隣近所のつき合い
少ない。
非協力的な人も多
い。
旧地区と新地区の
住居が「近所」なの
に自治会が別々なの
で交流も情報交換
もない。
自治会の活動が沈
滞しつつある。
自治会やめる人が
ふえてきている。

見守り

安全パトロール。
安全パトロール 青
パト。
組織だった子供達
の見守りがよくでき
ている。

地域活動

小規模ネットワーク
活動。
地蔵盆などの地域
交流。
自治会組織がしっ
かりしている。
自治会活動がしっ
かりしている。

交通

交通の危険箇所が
少ない。
道路の見通しがよく
治安がよい。
コミュニティバスの
回数が少なく不便。
交通の便が悪い。

マナー

違法駐車が多い。
不法駐車が多くのト
ブルもよくある。
道路を駐車場にし
ている人がいる。
ペットのマナーが悪
い。
ペットの散歩のマナ
ー。

環境

自然環境に恵まれ
ている。
緑が近く空気が良
いところ。
自然が多い。
店々遊興施設が無
い事が良い。
閑静である(俗化さ
れていない。)
静かな住宅街であ
る。

子育て

子育てをしやすい
地域。(例)すなっ
き一歩
子育て支援が活
発。
子育てサロンの充
実(活動)もっと参加
してほしい。

利便性

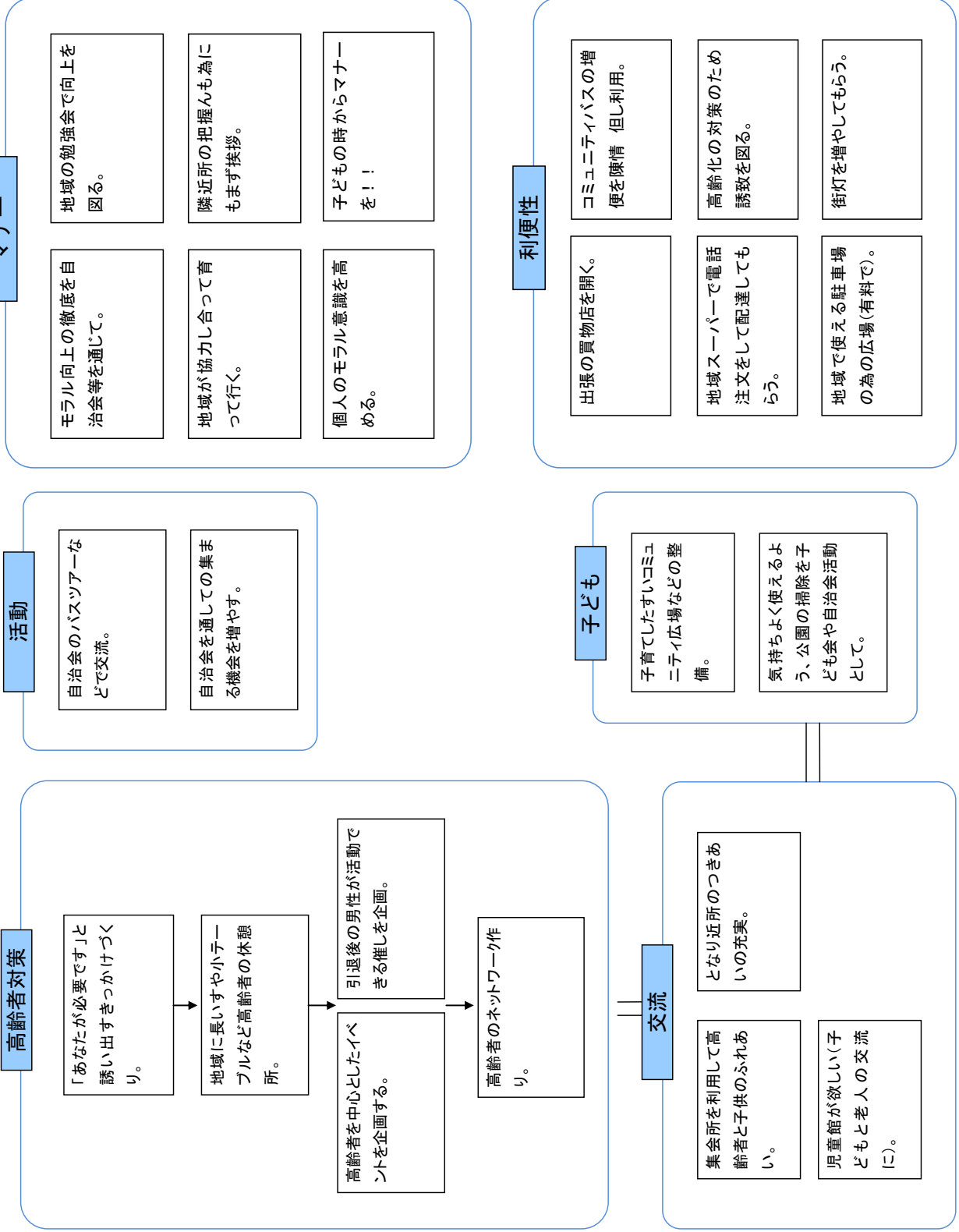
お店が少ない。
山手の方に買い物
のできる店がない。

公園

公園において使
用する子どものマナ
ーの悪さ。
公園の遊べる公園
や遊具が充実して
いない。
公園があるが活用
されていない小さい
子どもだけでは？

防災

組織だった防災の
訓練がなされてい
ない。
避難所が速く、全て
の確保は無理。



新家小区 1

幼稚園

行政の早急な回答。

行政の答えがおそい。

幼稚の早く 地域に早く。

地域にまかせてほしい。

幼稚園件について早く回答して下さい。

地域

中学校前の信号 地域で一丘区長と新家区長が協力して市他警察にあげる。

あいさつ運動 親(おとな)から児童生徒にあいさつしよう！

駅前にも各銀行 ATMだけでも欲しい！

高齢

コミュニティバスの回数が少ない。

民生委員を中心に地区福祉委員と協力して介護マップを作る。

ルナりんくう他 八幡山の地域の老人の買い物事情。

特別

選定委員の選出及び現メンバーの住所は泉南市は何人か。

パトロール

青パト、他地域の方が回ってくれているが回数を増やしてほしい。

新家小区 1b

幼稚園

新家幼稚園を利用できるようにしてほしい(子育てサロン、高齢者)。

幼稚園(2園)の使用方の答え早く出して下さい。

廃校幼稚園 早く答を出してほしい。

(新家南、新家) 廃校の幼稚園を早く地域に開放してほしい。

新家幼稚園や南を一般市民に利用させて欲しい。

廃校の幼稚園を一般市民に開放して下さい。新家幼稚園、新家南幼稚園 園庭の開放も同時にお願ひします。

清掃

犬の散歩時のふんのしまつができていない。

新家川ぞいのゴミ捨て(小ささまなもの)。

新家川の清掃 年1回位は大掃除が必要。

駅前清掃 ボランティアさんを多く!

上池、下池周辺にゴミを捨てる。住民のマナー向上を!

地域

村を通る車は速度を落として欲しい。幼児、子供が危ない。

新家公民館 建物も小さいが駐車場が狭い。

駅周辺の交通マヒ(時間帯によるが)。

老人会館のガラスは修理してもらってもすぐこわされる。遊びに来る子どもにどのように注意するのか。

中学校前の点メツ信号早く設置大きい。

新家駅前に銀行窓口がなく不便。

地域で話し合う場がない。

高齢

青色パトロール よく回ってくれている。

新家幼稚園 高齢者の為に活かしてほしい。

新家駅を高齢者が歩きやすくしてほしい。

閉じこもり対策 老人クラブへの加入のお誘い。

高齢者の為に昼食のはいら。

介護保険について話してほしい。

ルナ・りんくう老人会(桜会)への加入のお誘い方法を教えてください。

買い物ナンミンの時間が来そうですが如何対処されるか。

パトロール

小学校の登下校時のあいさつ おどなどこともともに。

中高生がお墓で遊んでいる。パトロールをお願いしたい(真夜中で女子も一緒に)。

小学生 登校時の見守りがされている(良い事)。

公園

地域の公園の遊具について、定期的に点検してほしい。

新家小区2

高齢者問題

高齢化が進行し、自治会、老人会活動に協力したり参加する人が少ない。
隣人とのつきあいが少なく、あまりかかわりがない(声かけ運動の推進)。

地域住民の高齢化若し人達が少ない。

道路

通学道路 イトーピアからの通学の為の歩道が途切れているので危険。現在の歩道も「さく」がない所があり危険。

新家→高野の方への道が暗いので危険。

いずみ台より奥の通学路が車が多く危ない。高野野口方面。

各学校で指導してほしい。

コミュニティバス

(便数をふやしてほしい)全てのバスが構井駅へ行くと、中間でリレ一する事が出来れば各地域の回数が増えるのではと思いますが、現実的にどうでしょうか？

コミュニティバスの回数(便数)をふやしてほしい。

コミュニティバスの回数が少ないか？

環境

スカイテアオクワマでの(一岡神社横)道路両端の草が茂り見えにくく危ない。

駅前ロータリーの花壇の花、苗木取られるのでかくしカメラでも設置してほしい。

幼稚園跡地

いつでも、つどいあいができる集会所の活用があると思う。

老人と子どもふれ合い場所 自由に入出入出来る様 ボランティアで当番制にする。

幼稚園の使い方(跡地)。

集会所にて老人体操や(老人対象)健康に関するお話や頭の体操等をやっているが参加者が少ないので、もっと参加出来る方法はないか？

高齢者の人生経験などを知るを広げる場がほしい。

個人情報

独居老人が増えているがなかなか介入がむづかしい。

個人情報のせいもあるがひとり暮らしの方の情報が取りにくい。

個人情報重視と情報の共有の難しさ。

公共施設

公民館の駐車場の(新設)工夫してほしい。新家幼稚園の園庭をもう少し上手に利用できるようにしてほしい。

あいびあ一使用で 高齢の方がカラオケに行かれるがいつもの顔なじみの方が占領して入っていかなくて楽しめないという高齢の方がぼやいておられます。

青少年

中地区の墓地の休けい所に学生がたむろして居る時があり、又落書き等々しているのが対象法いかにすればいいか。

青少年指導員に情報を提供する。

派出所 学校に常時連絡、見守りの強化のため。

世代間交流

子育てを持つ世代の人と子育て終わった人との交流の場。

'子供達に地域の目を'と思うが、むやみに声かけできない現実。

子供達のあいさつの言葉がはねかえってこない。学校での指導もよろしく。

新家川

新家川にブラスチック等のゴミが多いので、府、市の管にかかわらず、きれいにすることを出来たらと思う。

新家東小区

マナー

犬のフンの始末が出来ていない。
マンション内のゴミ箱から資源ゴミを夜中に持ち出す人がいる。対策は？

ボランティア

ボランティア情報の紹介（センター活用）。
ボランティアの方が増えてこない。
買物ボランティアの育成。

高齢者

地域での声かけ。
日常で老人が集まるところがほしい。
閉じこもり対策、高齢者。
老人会の名称を変える。
ボランティアをすすむための活動を育成・支援。
高齢者問題を若い人がどうさえるか。
ひとりぐらし老人を近所の人達が助け合っている。
1人暮らしが増えている（増々）。
生きがい対策支援。

買物

高齢者の買い物や外出に不便を感じている。
お年よりの人が買物に困っている。サングリーン。
高齢者で買い物（日常の）が困難になっている。

公園

街路樹を植える(市)。
ドッグランを作ってほしい。
楠木台の公園内に屋根付ベンチがあればうれしい。(楠木台)
街路樹がほしい(歩道があるので) サングリーン。
公園の整備・清掃を取り組んでいる。

新家駅

わかりやすく表示してほしい。
新家駅の踏切を高架にしてほしい。
新家駅の踏切のかいぜんを考えてほしい。
自転車置き場がほしい。
新家駅にエレベーター設置してもらいたい。
新家駅のエレベーターがほしい。
駅前のゴミが多い。
新家駅へ改札をのほりにも付けてほしい。

行政

新設公民館の駐車場が狭い。
幼稚園の跡地の利用。
下水道整備が遅い(行政)(高齢者家庭が増えて感心が遠のく)。
泉南市からのお知らせ放送(防災放送がきこえない)。

子どもの安全

子育てサロンの充実している。
子供安全パトロールが充実している。
子供の見守りに取組んでいる。・パトロール、通学路。
安全パトロールの充実。

防災

駐車場 防災拠点。
団地が小さく、比較的うまくまとまっている(東和苑)
防災に取組んでいる。
地域での防犯・防災も充実してきている。
防災支援マップの作成。個人情報課題あり。
災害が少ない。

自転車・車

地域での交通指導。
自転車の逆走が多くマナーが悪いのが目立つ。地域で乗り方の指導などやってほしい。
路上駐車が多くなってほしい。
自転車の乗り捨てが多い。

コミュニティバス

コミュニティバスの回数を増やしてほしい。
コミュニティバス以外の交通手段がない。車がないと市役所が遠い(感じる)。
コミュニティバスのルートを泉佐野にも走らせてもらいたい。
コミュニティバスのコースを逆送してほしい。
南海 羽倉駅とないで欲しい。JR新家、コミュニティバス。
コミュニティバスの数、コースが分かってほしい。
イオンショッピングセンターにコミュニティバスを乗り入れてほしい。

情報

市の充実 ホームページ。
地区の取り組みの情報提供が少ない。
福祉に関する行政の事業等についての情報が…わかりにくい。
福祉に関する行政の事業等についての情報が伝わってこない。(一部の人のみ)

西信達 1

課題

マナー

海洋のゴミの始末。

路上の駐車違反。

マーブルビーチのゴミの整理。

草刈りなど、地域の美化活動があまり活発でない。

施設の整備

公園の環境を完壁に。

老人集会所の修理
トイレを洋式にしてほしい。

小、中学校に洋式トイレがない。

公園の遊び具のメンテ。

施設の整備

政治家のポスターがやたら目につく。

生活環境

政治家のポスターがやたら目につく。

場所

災害時の対策について話し合う場を持つ必要がある。

子ども達が安心して遊べる場所の不足。

お歳よりがつどえる場がない。

安全性の確保

防災の放送の音が聞こえにくい。

地域セーフティネットワークが不十分。

空家が多く、防犯防犯が心配。

地域の福祉関係の横のつながりがない。

小学生の通学路の安全確保。

良い

地域のつながり

お祭りを中心として地域のつながりがある。

新しい住宅地が増え、旧地域との交流も増えてきている。

子育て支援活動

安全パトロール・朝のあいさつ運動。

未就園児童を持つ親子への支援として子育て支援センター、にしんっ子広場がある。

西信達小区2

取り組み

交流の促進

地域での行事(運動会、発表会、祭、盆踊等)での交流の促進。

地域交流の場として旧幼稚園の場所の活用。

あいさつ

地域、相互のあいさつ、声のかけあい、運動。

あいさつ 声のかけあい。

セーフティネット

セーフティネットワークの構築。

ひとり暮らし老人夫婦世帯の見守り。

子どもの安全

パトロール員の増員 安心安全の意識を高め、地域の目を増やす。

子供の下课時間にあわせて安全パトロールをする。

意識向上

大人が見本を子ども達に見せられるようにモラルを意識して活動する。

環境の美化

地域の福祉関係合同でクリーンアップ作戦の実施。

美化活動日を設定する。

小中学校のトイレ洋式化を地域住民の手で(寄付などで)まっただなし!!

行政への要望

市役所の出張所。

海洋のゴミの処理。

公園の草刈り。

公園や河川に立看板。

信号のむきを改善して欲しい。

一丘小区

マナー

商店街内で遊んでいる子ども達のマナーが悪い。	子供とのふれあいの場がない(消極的すぎ)。
公園 犬、ねこ(ふん) マナーが悪い。	幼、小のPTAがやっている廃品回収の新聞紙や空カンなど勝手に持って行く人がいる(泉佐野、つる原)来ている。
放課後のパトロールをするべき。学校の職員も交えて地域で。	マナーの乱れ。
犬のフンが歩道に落ちていたりするのを見て学校に行く時に子供が踏んだりして困っています。	URの賃貸条件の改正 要求 犬のふん処理。
自転車整理(放置)。	地域とPTAが商店街を夏休みなど見まわりをする。
マナー推進委を置く。	一丘団地内がひとつになれるようにしてほしい。

組織

泉南市役所担当員が考えに封建的(古い)。	一丘団地ボランティアが作る。
一丘区と一丘自治会の関係性が良くわからない。連帯感がないように思う。	一丘団地公園整備ボランティア、泉南市共同で行う。

高齢者

高齢者の情報が入りにくい。	高齢者等の情報を引き出すネットワークが必要。
おとしよりの方が暮らしている、こまごまの事などないのか、気になる。	高齢者の集会が複雑。
住民の声を聞く受皿がない(統一性、連携がない)。	受皿となる組織を作る・見守りネットワーク、その他(他との交渉窓口)。

コミュニティ

表れが少ない。	組織団体等の横のつながりがない。
都市機構、自治会、その他ボランティア重複事項がないのでは？	小、中学校と地域のつながりが一部しかない。情報が少ないため、地域から理解されにくい。
人的、物的資源を有効につなぐコミュニティ。	人と人のつながりが希薄。あいさつが少ない

整備

一丘区が存在が不明確。	市、UR、民間土地の区分が分からない。
泉南市立病院がないのが不満。	(病院) 泉南市役所へ要請。
道路補修のカンカツが不明。	屋間に街灯がつけっぱなし多い(32棟前)。
市内循環バスの利用が不便。	(バス) 泉南市役所へ改善要望を！！

緑

子供の遊び場が多い。	緑が多い。
大阪のベッドタウンとして良い市である。	各団体等は個別には大変熱心である。
緑が多いのはよい。	緑が多く、公園なども整備されている。
団地内はあまり車がスピードを出して走っていないので安心である。	公園がたくさんあって、子供の遊び場には困らない。

公園

勝手に木の枝を折ったり、切ったりしない。	一丘団地公園草引き、草刈。
----------------------	---------------

その他

各団体の合同会議を設定する。	住民の自由な声を聞く箱設置(適当数)。	街灯のカンカツ住民への連絡。	URが主体となり、巡廻する。
----------------	---------------------	----------------	----------------

■第3回：「地域の良い点・課題について、対策取り組みについて」

日時：8月26日(金) 午前10時～12時

場所：泉南市役所
(泉南中学校区)

雄信小区 1

よいところ

美しい自然・海山。	世代間交流ができてい る。
祭り、地域がつながって いる。	街灯がたくさんついてい る。
子育てサロンの利用者が 増えてきた。	安全 青色パトロール車 による子供の見守り 不 審者少なくなった。
地域の人と子供達との 交流が多く有る。	
地域で子ども見守り がされている(小学校区 の下校時)。	

マナー

ペットの散歩の時のマ ナーが悪い(犬のフ ン)。	中高生マナー タバコ他
犬のふん ペットの飼い 主のマナーの悪さ。	地域で指導者を育成す る。

住民と福祉の関係

地域福祉に関してあま り良く分らない。	地区福祉活動に協力者 少ない。
集合住宅とのかかわり がわからない。	各団体のサークル等の 参加があるが、地区福 祉活動の参加者が少な い。
高齢者世帯が多くなり、 福祉委員民主委員で声 かけ訪問ができていく。	昔の隣組コミュニケーション がうすれて。
各種イベント等の積極 的参加してもらおう各 種団体の努力。	福祉に関する情報を早 くわかりやすく住民に。
包括支援センターとの 情報交換。	

施設整備

雄信地区は公民館が少 ないので、公民館又は それに準ずる施設がほ しい。	コミュニティーバスが少な いし、バス停が遠い。
市民病院がないので、 休日、夜間の診療時に 困る。	学校の運動場の開放し てほしい(無料)。

交通安全

道路脇の草が気になる。 。	小学校の登校路にキケ ンな所があるので心配 です。
歩道の整備ができてい ないので、歩行者が歩 きにくい。	通学路遠い 車に通行 多くキケン。
	自転車の交通ルールを 高齢者及び子どもに教 える。
	子どもの自転車にてあ そびがあぶない。

公園整備

子ども遊んでいない。	公園が少ない。
公園の草等生い茂って いるので管理の仕方を 考えてほしい。	

その他

情報が入ってこない。	
権利と主張と義務の逐 行を ロより手足。	
ゴミ収集について収集 時間等きめてほしい。	
子ども会が衰退してきて いる。	

環境

川が汚い。	男神社、浜の宮等 区 民のいいの場の有効 利用。
男里川がたいぶきれい になったが、まだきだな いので整備してほしい、 櫻井川みたいにい。	地域(住民)のできる事 はする(草刈、公園の管 理、川の清掃)。

樽井小区1

よいところ

子どもたちの育つ環境

2丁目ミズホ公園の清掃がゆき届ききれいです。なので人が聴う場所になっています。

4丁目 小学校の近くでは子ども達がにぎやかに外遊びをしています。

盆踊り、秋祭りなど、伝承文化が残っている。

公園のイス整備するとみんなが聴える。

ともかく出会いの場を、機会をつくる(イベントより日常的に)。

中高生の居場所作り、一学校との連携(子育てサロンなどに高齢者に来てもらう)。

近所のつながりよい

ご近所仲が良い為、子供さんの名前をだいたい知っている方が多い。

今住んでいる所は1部の人が、とても仲がよくて、お年寄りの人の心配をしたりいいところです。

中学校に近い為、ウチの前を通る中学生に朝おはようの声かけなどすると意外と返事が返ってくる。

公園の整備ができていない(ソフト)

公園がきたない。公園に自転車がよく放置されている。

公園の清掃は地区で毎日、日を決めて清掃をするしかないと思います。

公園の犬のフン等とらないで帰る人もいます。

公園の管理は各自治会等が協力してはどうか。

悪いところ

道路の環境整備

自治会にて駐車してはいけな場所を毎月回覧するがきまがない。

住宅街の細い道でありますが自動車のスピードが気になる。

樽井地区から新家保育所に行っているんですが新家は細い道が狭いんです。それに路上に車、洗濯物干しているんですね。それを植木(カイツカ)が道路に垂れ下がっている家が多い。

中高生のマナーが悪い

中学生の自転車のマナーが悪い。

中・高校生がタバコを吸っているのを見かける。どこで買えるのか。

授業中なのに生徒が公園で遊んでいる。

夏休み中、公園に中学生男女が来てくつまっているので近所の子供達も外に出づら。

公園での中学生の遊び方マナーが悪い。

高校生が通いつばいに広がって登下校。

高校生の登下校は学校で見守っていたくかかれないと思う。

市街地の活性化

駅のバリアフリー化が出来てない。

商店街がスタイlishしている。地域で買物する所がない。

居場所づくり

末就園の親子の居場所が樽井公園に少ない。

障がいがかえらる方たちの集う場、行き場が少ない。

各種団体のネットワークができてきた

山之井ネットが立ち上がり、区、老人会、婦人会、民生、福祉が同じテーマブルにつけた(山之井サロン運営)。

独居老人の見守りをしてはいるのですが70才以上でもっとも元気なのもう少し年齢をあげてもいいんじゃないかと思ひます。人それぞれ健康さは違ふと思ひますが。

青パトが巡回してくれていて、子供の見守りをしていただいで「くれている。

一人一人が見守りの意識が強い。

福祉委員の主体性

福祉委員が自ら「やろう」と思ふ人が活動している。

時間がわかるようになった

夕方の放送が入るようになって、時間がわかりやすくなった。

地位活動への参加

団体に所属しない人が結集していく(例、青パト)。

若い世代の方たちの参加が少くない。

子供会がない。

地域の行事にいろいろ参加する方が多い。

コミュニケーションの活性化 地域情報の発信方法。

地域意識が強い。旧町民、新町民。

広報活動・掲示板・募集チラシ配布活動の広報。

情報を共有できるように、発信する。

鳴滝小区1

地域

防災訓練ない。	交流 年代別になって いる。	顔見知り以外の方とは あいさつしない。	情報をきめ細かく伝達し てほしい。	地域活動を広く知らせ る。
外国人に対する・日本語教育・交流(小学校、保育所)ある。	子供に対するファミリーサポートセンター。	皆構とよく話合が出来 る。	一人一人みんながお互 いに声かけ・子供・年寄り 世代ごちやませ の交流の場。	中学校、小学校、保育 所、幼稚園 交流深め る。
古い地域の方は連絡が取れている。	となり近所の交流がよ い。	地域の各種役員だけで なく、みんな子供や年寄 りなど交流見周りにほ しい。	地位行事の広報活動 ポスター、地域ふれあい センターにより 等 活 用。	一般に対するファミリー サポートセンターを使 う。
近所づきあいが少なく、誰がいるのかわからない。	新しく住んだ人達による 交流が少ない。	地域での取り組が区民 に伝わっていない。	子供達とゲートポール 交流。	

高齢者

老人クラブの人たちが保、幼、小中学校訪問、昔遊びなど教える。	ほしぞらの食事会に新しい人が行きやすく!
グラウンドゴルフ、スポーツを通じて交流。	高齢者の集る「ほしぞら」も毎回来る人が決まっています他の人は行きづらい。
保幼、小中学校が老人ホームなど見学体験・介護について同居家族が減ってきている。	ひとり暮らしの高齢者の声かけ 個人情報との兼ねあい。
元気教室などの開きで老人が元気。	高齢者がほとんどの地域が多い。

総合相談窓口ほしい。

総合窓口(相談)(自分の相談したい事どこにそうだんしたら良いか?)

安心して外出できる道路整備。

地域の中にゴミ箱の設置。

公園

(悪)公園がもう少しきれいになると良いと思います。

公園等の清掃がいきとどいている。

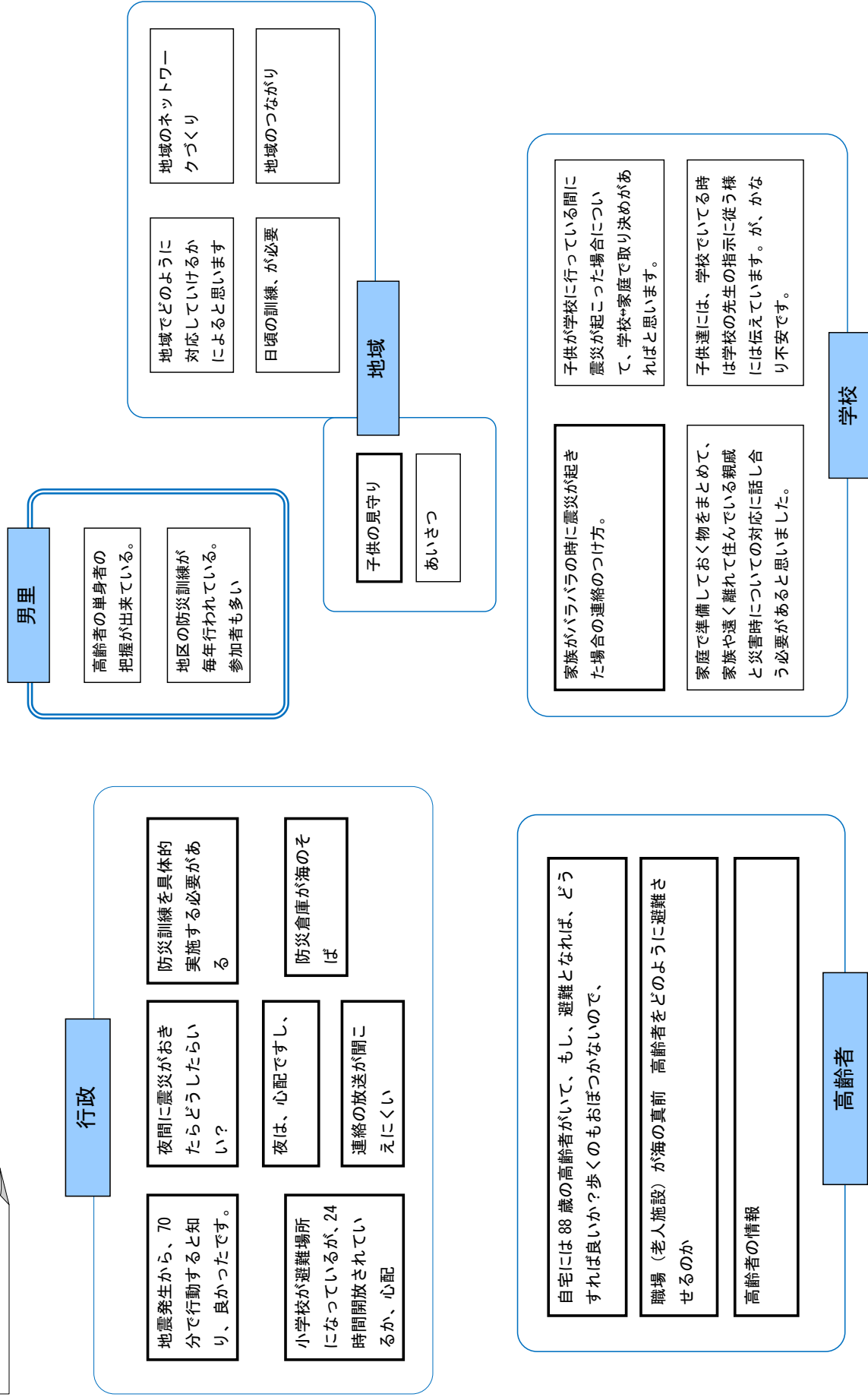
施設

交流サロン「ほしぞら」食事もできる。	営利目的の意識。	集会所開放。
公民館がほしい。旧鳴滝幼稚園、一小学校。	公民館 旧鳴滝幼稚園、第一小学校を使用する。	
建物があるのに活用していない。	空地利用一集会所一近く(駐車場)	

マナー

あいさつ運動はこんきがある。	日頃の声かけあいさつを続ける。	未成年者 特に(小学校)中学、高校 タバコ アルコール。
犬の散歩のマナーが悪い。	あいさつができない(できていない)	悪い 自動車が多いので子供達や老人が大変です。
小学校の校門まで車で送ってくる母親が多い。止めてほしい。	夜間の駐車イハンが多い。	

泉南中学校



泉南中学校区

樽井小学校へ避難する様になっていくが、大丈夫なのか？

池が（君が池）やぶれたらどうしたら良いか？

（災害時）震災の時の放送が聞こえない。

外出していることが多いので、もしも
の時、どう動けばよいか不安

避難場所を市民に周知してほしい。

自分の住んでいる場所の高さ。

情報についてテレビのみの為現実の
実態が把握できない。

ヒナン場所のてっ
てい

自主防災組織の導入

都市を山に移動する

自主防災組織を早急に立ち上げる

自主防災組しき、防災くんれん

実態把握の為地域の放送アナウンスが必要

日常に避難訓練を実施し、行動が身につくようにする

古くから住んでいる人は情報があるが新興住宅の人は、わからない

地域ごとに集会などをして徹底してしたらよいと思う。
自主防災そしきをつくる

信達中学校

避難場

避難時の“ひなん”場所の把握。

とくくみ となり
近所を密に交流し
ふだんから声かけ
をする。

- ・地域・近所で話し合っておく。
- ・声をかけあう。
- ・高齢者には特に気を付けてあげる。

日頃から話し合う機会を設けてコミュニケーションを取った方が良いのでは？

情報の伝達 火災

震災の後の行動に対しての情報を早急に伝えて欲しい（防災無線等聞こえない事が多い）もし火災が発生した場合消火活動は、どうなるのか。

自主防災

自治会活動と連携しながら自主防災組織をつくっている。

自主防災活動の更なる充実、避難訓練を取り入れることなど。個人情報をも大切にすることも大事だが大きな壁となっている。

不法駐車

不法駐車が多く緊急時通路が確保出来ず心配だ。

◎不法駐車をなくす運動をしたい。
自治会で取り組みたい。

門柱カード

地区では門柱に災害時に無事を知らせるカードをつけている（表には訪問販売おことわりと警察のTEL No.、裏面に無事の通知）。

地域的には津波の心配はないような気がする。

寝たきり

災害時 独り暮らし老人 老夫婦世帯の把握、ねたきり老人痴呆性老人その他の救助に必要な老人障害者の現状の正確な把握と連絡先などの詳細な実態把握を速やかに行なうこと。

家族で対応が出来ない時のため日頃、近所の方にたのんでおく。

地域の地形によって⑩マグニチュードが同じでもどうなるかなと心配です。

車イス

車イスの運転の仕方の講習会を皆でした方が良い。

道路のバリアフリー化
車イスの常使用者の把握と緊急時の家族だけの対応で可能性の把握（車イス対策）。

住んでいる人が年若い人が多いかどうか？（車イスが必要。手をさしただけで良いか等）。

ろうあ

私はろうあ者であるため逃げる方法がないか心配です。

聞こえない者でも情報がつかめる工夫をもっとしてほしい。

障がい者への伝達

今後の取り組み

- ・体の不自由な者として、障害の特性にあつた助言者（もちろん当事者も含めて）の拠点を市内に一ヶ所集中的に作る
- こと各区との連絡は担当者決める

現在行っている地域の福祉活動は、比較的健常者に対する対策はそれなりに行なわれていていると思えるが、弱者に対する対策障害者に対する基本的な対策は皆無に等しいと思える。

地域が古い民家が多いので、「逃げる時どうすれば良いのか？（家の庭にいる方が安全か？）

課題、日頃の不安を

- ・体の不自由な者として（足の不自由な者として口・耳の不自由な者として目の不自由な者として）知的機能の不自由な者として精神的不自由な者として一意識を伝えにくい。
- 個別化

ひなん場所自体

ひなん場所の建物が、地震に耐え得る建物であるかどうか？

無線が、はっきり聞こえるように対しよしてほしい。
火災に対する防火訓練をした方が良い。

個人情報

個人情報を守ることが大きな壁になり避難しにくい。

信達中学校区

防災無線

防災放送が聞こえにくい。

防災放送。

地域での避難訓練や隣組での、防災計画たとえば避難経路の確認等。

地域でひなんくんれんを年に何回か取る様に。

◎地域ごとひなんくんれんを年に何回か取れたらよい。

◎自分の家族と何人かの人をつれて、逃げる様にグループを作る。

地域でリーダーになれる人を、決めておく。

災害情ホウがあれぱすみやかに退所する。

地域毎で訓練をする日をきめてやってみるここと。

避難訓練

避難場所

区民を中心として細ごとにひなん経路、ひなん所など情報の共有をてつていする。

・もつと皆にひなん場所とか知らせて欲しい。

・小学校、中学校以外のひなん所等があれば利用でききる施設を表示してもらいたい。

・ひなん場所が分かりません。
・土地が低いので水がたまりやすい(上のう袋が)。

①ひなん場所を作る。

②下水の水の配管の流水をよくする様に。

③道のでこぼこをほしゆうする事・足元があぶないです。

ひなん場所もつとわかりやすいように。

防災に山中における道路の欠そん。

独占の高齢者の情報を消防署に報告する。
ひなん所を明示する。

今迄大きな災害が興つた事がないので、考えられない。ゆえに何かあつた時の備えがない事が反対にこわいです。

家の近くに川はないけど池があちこちにあるので激しい雨が降り続いた時に池の場合は大丈夫でしょうか…?

台風による大風、大雨に対しても今まで大きな被害にあつてはいないのかかえつてハニックになるかもしれない。

日頃の意識

河川

地域のすぐ横に川がある。

金態川が近くにある事。

池の水はいけるか。

マナー

消火栓や駐車違反近所の人だから言えない。もめるから消防署が日頃回り注意。

駐車禁止区域。消火栓。

曲り角に車を置かないでほしい。

違法駐車、通行の安心。

課題

防災の放送がよく聞えない。

地域の福祉関係横つながりが少ない。

地域のお年寄りをどうやって助け回るかどうやって連れて逃げるか。

防犯堤のトピラは誰が閉めるのか？

高齢者世帯や、障がいのもたれた方等自力で避難が困難な方の実態を把握できていないと思われる。

介護施設や病院には、たくさん的高齢者や動けない人がいる。(ホリ内でも100人以上…)

・避難場所が分からない。
・川が近いので津波が心配。

現状の避難場所が実際に災害がおこった時に本当に機能するのか、最直しや、検討する必要があるのではないか。

特養施設のため高齢者の皆様を安全に避難させる組織作りが大変です。

地域内の近くに、避難所がほしいが高い建物がない。きめられた場所は遠く感じる。

・コンヤ川があられたらどうなるか、が不安。
・漁港の近くに住んでいるので大水になったら不安。

避難場所。

南海線より海小・幼・保がある。子どもたちを安全に保ごできるのか？

災害時場所？

災害時の避難場所。

海バツの高さ標示がわからない。

避難場所があまり周知されていない。小学校？中学校？

津波が来たら2階の入所者を4階に上げるのが大変です。

取組み

高齢者や車類にのれない人に対する救助の方法は？

・避難所について詳しい情報が知りたい。

事前に安全な場所を市から設定してもらおう。

小地域での話し合いを普段からしておく。

近所どうしのつながりを大切にしていく。

地域の各所に海バツ標示をする。

現在、見守り訪問を実施中。

・(近りんの各)地域での、ひなん訓練をしたかどうか。その中で補助の必要な人を掌握し、だけれが、だれを(いざという時に)確認するかを、きめる。

M9.0の地震を想定した避難場所の見直しが必要。

各地区に海拔表示をしてほしい。

日頃からねたきりの人を4階に、2階の人は歩ける人と分けて入居してもらっています。

場所をもっと住民にわかりやすく。

地域セーフティネットワークの構築。

職員と家族会で安否確認のチーム作りをしています。

一丘中学校

心配

我が住居では昭和27年に水害にありましたがその問題点を話し合った事、なんで水害があったが現況等を話し合う場がなく誰れも忘れ去った事で原因すら解析されていないのが心配。

道の整備が遅れている宅地開発が先行し道の整備が進んでいない。
問題は宅地は民間が道路は行政が行っていて、相互の計画(都市開発計画)がとれている。

土地所有者との利権がかからみ道の整備はなかなか困難と思われるが、行政主導で、早く災害に対する道づくりを実施すべきである。

良く現況を分析して来るであろう災害にそなえてほしい。

災害時の
タイヒ場所の明確
化。

河川道

災害時に高齢者の世帯の把握と普段の生活状態の確認。

地域でのつながりに無感心な人が多い。

人と人、団体と団体等のつながりが不充
分。助け合う力が発揮されるのか本当に不安である。

一丘団地は高所であり、災害には特に心配がないが、一応連絡
一丘中学校。

天災が他人事様に思っている人々が多すぎる
もつと現実感をもつて対応したい。

市民・地域住民が一つ
になって取り組める
行事を行う。

地域でも行事や活動
を通して一人でも多
くの人の人に感動を持っ
てもらおう。

地域組織の独特、様々な団体
があるが横の連絡がなく組織
機能が生かされていない。

地域のリーダーが不明。

災害組織の活用。

普段の声かけを進めていく。

泉南市一丘自治会三者一体共同
連絡網充実。

話し合いをする場所がほしい(新築幼稚園
を
活用する)。

同級生など地縁の活用、祭りなど楽しいイベントを通じて顔見知りをふやして
いく。

市全体・地域全体での防災訓練などが無い。

先日、りんくう体育館へ行く事があり、防災時の備品が置いてあったの
ですがりんくう体育館でいいのですか
ようか?

防災放送が聞こえない。

緊急連絡網が迅速に的確にまわる様
にしてほしい。

連絡網を密にしておく体制が必要。

細かく防災マップを作る必要がある
班分け等をしてわかりやすく作る。

防災備品の場所を変えてほしい。

泉南市のگران
ドレベルの地点
はどの辺?(地
区名)

情報の伝達が難しい。

情報の伝達が難しい。

緊急連絡網が迅速に的確にまわる様
にしてほしい。

連絡網を密にしておく体制が必要。

細かく防災マップを作る必要がある
班分け等をしてわかりやすく作る。

防災備品の場所を変えてほしい。

情報・設備

人組織

注目

最優先課題

廃園の幼稚園を使用開始(地元には開放せよ)

3

用語の説明

アルファベット

◆DV

Domestic Violence の略で、家庭内暴力と直訳されるが、一般的には家庭内に止まらず親密な関係における男女間での暴力の意味。身体的暴力に限らず、心理的な暴力も含まれる。

◆NPO

Non Profit Organization の略で、民間非営利団体と訳される。日本においては、市民が自主的に組織し運営する、営利を目的としない市民活動団体という意味で用いられる場合が多い。1998（平成 10）年 12 月に施行された「特定非営利活動促進法（通称：NPO法）」により法人格を取得した団体を特定非営利活動法人（NPO法人）という。

あ行

◆大阪府福祉のまちづくり条例

こころのかよったまちづくりのために、府民、事業者、行政が一体となって進めていくことをうたい、不特定かつ多数の人が利用する建築物、道路、公園、駐車場（これらを「都市施設」という。）を対象（新設、既設を問わず）とし、整備の基準を定めている。都市施設の設置者と管理者は、規模にかかわらず整備基準に適合させるように努めることになっており、整備基準に適合するように整備・改善された都市施設には「適合証」を交付している。

か行

◆介護予防

家に閉じこもりがちな高齢者、要介護状態になるおそれのある高齢者等に対し、通所等による各種サービスを提供することによって、社会的孤立感の解消、自立生活の助長及び要介護状態の予防を行うことです。

◆虐待

人権を侵害し、心や身体を傷つけるような行為。殴る、蹴るなどの暴力的な行為だけでなく、本人の意に反する身体的拘束や性的虐待、暴言や脅迫などの心理的虐待、世話を放棄するネグレクト、年金などを勝手に使ってしまう経済的虐待などがあり、児童や高齢者に対する虐待が問題となっている。

◆協働

市民と行政（または市民と行政、企業）がそれぞれの持つ特性を生かし、補い合い、協力し合い、連携して地域活動や公共的課題の解決にあたること。

◆ケアマネジャー

介護支援専門員の通称。要介護・要支援認定を受けた人等の希望や心身の状況、生活環境等を把握して居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、適切な介護サービスの利用ができるよう市区町村や事業者等との連絡、調整等を行う人。

◆権利擁護

自己の権利を表明することが困難な寝たきりの高齢者や、認知症の高齢者、障害のある人の権利擁護やニーズ表明を支援し代弁すること。

◆コミュニティソーシャルワーカー

地域において支援を必要とする人々の生活圏や人間関係などを重視した援助を行ったり、地域を基盤とする支援活動を発見して、支援を必要とする人に結びつけるなど、必要に応じて行政や各種団体と連携・協働しながら解決を図るなどの活動を行う人。

さ行

◆災害時要援護者

高齢者世帯、要介護者、障害のある人、難病患者、妊婦、5歳未満の乳幼児、日本語に不慣れな外国人などの災害時に一人で避難が難しい住民。

◆成年後見制度

判断能力が低下した認知症高齢者や知的障害のある人、精神障害のある人等を法的に保護し、支援するため、平成12年度に開始された制度。家庭裁判所により選任された後見人等が本人の意思を尊重し、法律行為の同意や代行などを行う。

た行

◆団塊の世代

1947～49年頃のベビーブームに生まれた世代のこと。

◆地域子育て支援センター

地域の子育て中（未就学児）の親子が互いに交流し、子育てを楽しみながら仲間をつくる場で、育児不安等についての指導や育児支援を行う機関として、各市区町村に設置されている。

◆地域包括支援センター

地域に暮らす高齢者の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを行う機関として、各市区町村に設置されている。

な行

◆日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障害のある人、精神障害のある人等のうち、判断能力が不十分な人が地域にお

いて自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行うもの。社会福祉協議会が実施している。

◆認知症

記憶障害から始まり、知的能力が脳の後天的な変化により著しく低下する病気。

◆認知症サポーター

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者として日常生活の中での支援をしていただく方。

は行

◆バリアフリー

高齢者、障害のある人の生活の妨げとなるバリア（障壁）を改善し、両者が自由に活動できる生活空間のあり方。

◆ボランティア

個人の自由な意思によって金銭的対価を求めず、社会的貢献を行うこと、及びそれに携わる人のこと。

ま行

◆民生委員児童委員

民生委員法に基づき厚生労働大臣に委嘱され、地域住民に対する見守りや生活課題に関する様々な相談等、行政や関係団体と協力しながら支援を行う人。

なお、民生委員は児童福祉法第16条第2項の規定により児童委員も兼ねており、特に主任児童委員は児童福祉に関することを専門に担当している。

や行

◆ユニバーサルデザイン

特定の年齢・性別・国籍・心身状態の人を対象とするのではなく、様々な違いを超えて考慮し、計画・設計することや、そのような状態にしたもの。

ら行

◆ライフステージ

人生の各段階。乳幼児期・就学期・成人期・高齢期などに分けられる。

◆リハビリテーション

障害のある人が社会生活に復帰するための総合的な治療的訓練。身体的機能回復訓練、精神的、職業的な復帰訓練も含まれる。

策定委員のみなさんから“ひとこと”



会議に参加させて頂き、障害者に対する市民の皆様の取り組みと環境が着実に前進していることをうれしく思います。今後、障害者自身が待ちの姿勢から積極的に地域の中にとけ込み、共に活動し、策定した計画の一步前進へ取り組んでまいります。

佐々木真人



本計画の策定に関わってこられた委員の皆様のご熱心な討議により「福祉と共生のまちづくり」をめざす有意義な指針ができたと思います。

今後はこの策定書の周知を図ることはもちろん「画竜点睛」を欠くことのないよう施策の進捗状況に関心をもって見守っていききたいものだと思います。

若林茂樹



地域福祉を進めていく立派な指針ができました。どれだけ実現できるかが問われます。今、しんどい思いで日々を過ごしている人々に、一日も早く適切な支援が届き、安心して生活できるようになることを切に願います。

西野敦子



誰もが地域で安心して暮らしていくために、自立・互助・共助・公助の重層的な取り組みが、益々必要となっているこの時期、市の地域福祉計画及び活動計画策定委員会委員として参画させていただき、責任の重さを感じると共に、今後の推進状況をしっかり見させていただくことが大切と思っています。

亀田章道



厚生労働省は、対策の遅れていた「精神疾患」を加えて「5大疾病」を決めました。精神疾患は青年期に発病することが多く、治療しても一般就労ができる人は少なく、殆どの方が長期間家族と同居しています。個人情報上の壁はありますが、障害者を必死で支えている高齢者の支援も必要です。

長島由美子



泉南市の地域福祉活動計画策定委員を引き受け、初めは戸惑いの連続でした。話を聞くうちに少し判る様になったと思います。福祉と申しまして、子供から高齢者又は外国人、色々大変なことと思い、私も少しでも皆様の手助けが出来る様にと頑張っていきたいと思います。また計画に参加させて頂きありがとうございます。

尾本時子



地域コミュニティをしっかりとする事が、地域の福祉及び災害時における減災につながり、安心・安全な街づくりになると思います。

上中喜美夫



社会福祉法人長寿会は平成6年4月より老人福祉事業を営んでおります。この度は地域福祉計画の策定に関わらせていただきました。今後は、行政、民生委員、地域諸団体、住民、ボランティア等の関係機関と共に、泉南市が目指す「誰もが地域で安心して暮らしていけるまち」に寄与できるよう一層努力いたします。

油田学



第一次計画に引き続き、第二次計画の策定にも参加しましたが、前回に比べ計画策定への参加意識が非常に高くなっていたのには感心しました。委員の皆さんから次々と手が上がり、沢山の前向きな意見を聴かせていただきました。この皆様のご意見を、社会福祉法人として事業展開に役立てたいと思っています。

川勝光子



今回参加させて頂き、様々な立場からのご意見を伺うことができよかったですと思います。ともすれば自分に最も近い人達（障害者関係）のことにのみ目がいきがちですが、市民の方々の願いや実態にふれる中、「必要な人に適切に支援が届くしくみづくり（基本目標3）の大切さを痛感しました。

井上尚美



泉南市地域福祉計画策定委員会に参加させて頂き、各セクションでの取り組みを改めて理解を深めました。私共も社会福祉法人として計画実施にあたり協力をしたいと思います。微力ではございますが、宜しくお願い致します。

道脇浩司



泉南市で生活するすべての人々が、自分らしく、より良い暮らしができるよう、この計画が役立つことを願います。

たくさんの人たちが困難に感じていることは、社会全体として改善しなければという思いが強まりますが、一人ひとりが抱える小さな困難にもきちんと対応できるような地域社会づくりを期待します。

厨子美津子



住民懇談会で地域によって様々な意見や考えなくてはならない事がある。第一に地域福祉が何なのか、福祉といえば障害者や老人だけと思っている人が多数いる事も。地域福祉がもっと身近で、誰でも関係があるのだと、第二次地域福祉計画及び地域福祉活動計画で、市民の繋がりがもっと強くなる事を願います。

滝本美津代



各地域で福祉活動は着実に根づいています。今、活動されている人たちに加え、働いている世代や若者たちの参画があれば、もっともってご近所の底力がパワーアップするでしょう。そのため、既存の組織・団体を地域福祉や防災をキーワードに連携を強化する仕組みづくり、情報の共有が大事だと感じました。追加：私にできること、私にしかできないことをしてみませんか？ちょっと勇気を出してと呼びかけたいです。

松下盛子



今回初めて参加して、各委員さんが地域でいかに一生懸命活動されているかを実感しました。委員会を重ねるうちに、大切なのは市民一人一人が、人に頼るだけでなく皆で協力していくことだと思いました。この地域福祉計画が、しっかり機能していくことを願います。

下澤ひとみ



策定委員となり、これまで疑問に思っていたことや分からなかったことがとても分かりやすい計画となっていて、参加して良かったと思っております。

島本純子

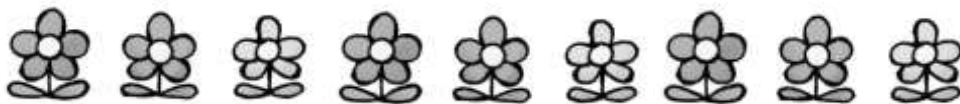


会議や各種団体の皆さんとのワークショップに参加した中で、だれもが自立して幸せな生活をめざす為には、地域の中で孤立せず、共につながっていることが大切と実感しました。お互いが助け合って暮らしていける地域社会の実現の為に、この計画が着実に実行されるよう委員として協力していきたいと思えます。

津田純子



第5回策定委員会において、向井通彦泉南市長に完成計画書を提出し、出席委員の皆さんと記念撮影をしました



～ 編集後記 ～

このたび、泉南市で暮らす皆さまが住み慣れた地域で、安心して健やかに生活できることをめざして、第二次地域福祉計画および地域福祉活動計画が策定されました。

地域で人々が快適に暮らすためには、行政、福祉関係の事業者、地域住民やボランティアとともに、主体的に地域づくりを行うことが重要です。地域づくりとは高齢者、子どもや障害のある方々が生活しやすい安全な施設の整備や医療保健福祉サービス等を拡充することだけではなく、住民同士や関連機関と住民とのつながりを深めていくことも意味します。高齢者、子ども、障害のある方々が住みやすい地域は、すなわち、健康な人々も住みやすい地域でもあります。

地域づくりをどのように進めていくのか、その具体的な方法については、学術的にも、実践的にもまだ明らかではなく、多くの自治体や地域に試行錯誤に進められているのが現状です。地域福祉計画ならびに地域福祉活動計画とは、計画を実行をする、市民、行政、福祉関係の事業者や社会福祉協議会等がこれからの5年間、泉南市の地域福祉活動の目指す方向性を共有し確認する、いわば「道しるべ」といえます。

本計画を策定するにあたっては、泉南市の地域福祉に関連の深い諸団体や市民の方々によって構成された計画策定委員会で素案を作成しては何度も議論を行って参りました。市民の方々のご意見を広く計画に反映させるために、市民懇談会やアンケート調査を行いました。また、第1次計画で計画されてきたことを見直し、次の活動に結びつくように、市の各担当課や社会福祉協議会の職員とともに、計画を策定してきました。

策定してきた「道しるべ」にしたがって、地域福祉計画や地域福祉活動を着実に実現していくこと、あるいは策定された計画を上まわる活動が展開され、この泉南市が今よりさらに住みやすい地域になることを祈ってやみません。

最後になりましたが、計画策定に際し、ご意見やご協力をいただいた市民の皆様、各団体や事業者の皆様、ジャパンインターナショナル総合研究所のご担当者に心より御礼を申し上げます。

平成24年3月

大阪市立大学大学院看護学研究科 在宅看護学領域

教授

河野 あかみ



第二次泉南市地域福祉計画及び地域福祉活動計画

発行：泉南市健康福祉部生活福祉課

社会福祉法人 泉南市社会福祉協議会

編集：泉南市健康福祉部生活福祉課

住所 〒590-0592

大阪府泉南市樽井1丁目1番1号

TEL 072-483-3473

FAX 072-483-7667

社会福祉法人 泉南市社会福祉協議会

住所 〒590-0521

大阪府泉南市樽井1丁目8番47号

TEL 072-482-1027

FAX 072-482-1618

発行年月：平成24年3月
